「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する “Global Kawasaki”」

川崎重工グループは、世界を取り巻く社会課題に対し、
多様で高度な技術力を駆使して課題解決に貢献することにより、
新たな価値を創造し続けます。

グローバルな社会課題

- グローバル化に伴う移動・輸送の活発化
- 環境リスクの高まり
- 新興国：社会インフラの不足
- 先進国：高齢化・労働人口の減少

川崎重工グループの経営資源

財務資本

投下資本 10,230億円

製造資本

グローバルな生産体制

設備投資 704億円

主要製造拠点

日本 19か所

海外 21か所

知的資本

- 120年を超える経験・ノウハウ
- 広範な領域における高度な技術力

研究開発費 526億円

人的資本

最高品質を追求する技術集団

従業員数 36,332人

社会/関係資本

- Kawasaki ブランド
- 長年蓄積された取引先との信頼

自然資本（単体）

エネルギー使用量（熱量換算合計） 6,348TJ

原材料（鋼材）素材としての購入量 11万t

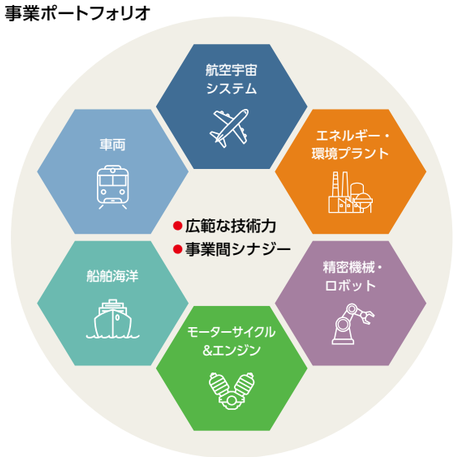
（2019年度実績）

事業活動と戦略

カワサキバリュー
（重きを置く価値：戦略・施策立案の立脚点）

- 多様なお客様の要望にこたえる
- テクノロジーの頂点を目指す
- 独自性・革新性を追求する

事業ポートフォリオ



価値創造のドライバー

- 中期経営計画「中計2019」（2019～2021年度）
- Kawasaki-ROIC経営
- 事業活動を支える基盤（ESGへの取り組み）

主なアウトプット

時代をリードする画期的な製品・サービスの提供

主な製品

税引前ROIC※ 4.2%

ROE 4.0%

（2019年度実績）

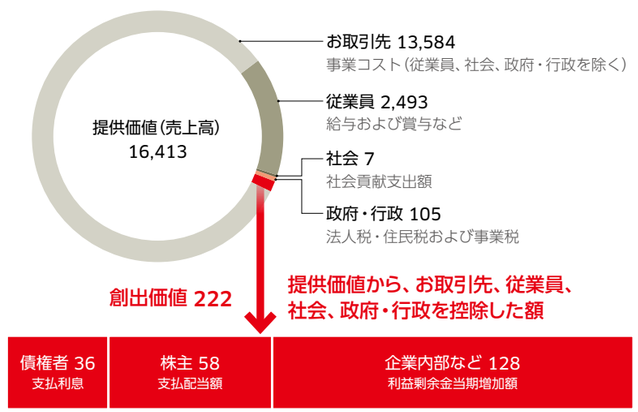
事業活動によるCO_2排出量（単体） 28.5万t-CO_2

製品貢献によるCO_2排出量の削減効果（単体） 2,313.8万t-CO_2

（2019年度実績）

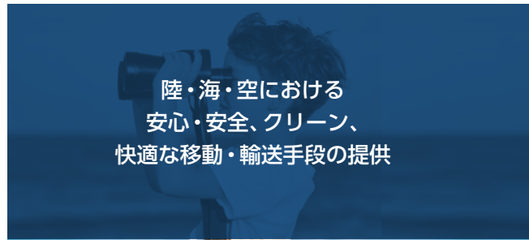
※ROIC：Return On Invested Capital
事業を投下した資本に対して、どれだけの利益を上げているのかを図る指標

創出価値およびステークホルダーへの価値配分（億円）



（2019年度実績）

創出する社会価値



外部環境とリスク

産業構造の変化
- 技術革新
- AI、IoTの進化

気候変動
- 地球温暖化
- 大規模災害

為替の変動
- 海外売上高比率が高く収益に影響

経済動向
- 設備投資による影響
- パンデミックの影響